

2 若者の子育て世帯用の低所得者向き町営コーポの建設を行うことで、八百津町の若者や町外からの転入を促す。

3 大仙寺前を新たに市街化して、商店、住宅、その他八百津観光の中心にする。

**答** (赤塚町長)

ご提案の和知・伊岐津志地区の優良農地を一括して農振地域から除外することは、食糧自給率の改善を進める国の施策にも逆行することや、農振法の主旨からも大変難しく、必ずしも人口の流入につながるとは考えにくい気がします。

また、子育て世帯用の低所得者向き町営コーポの建設につきましても、良いアイデアだと思います。ただし、建設用地の問題、多額の建設費用が必要など、十分な検討をしたいと思えます。なお、若い世代を対象として、

将来は町内に住んでいただく事を入居の条件とした町有住宅の建設を、昨年度と今年度で伊岐津志に2戸建設しました。26年度以降には更に3戸を錦織に建設したいと考えております。

大仙寺前を市街化して町の観光の中心とする考えについては、あまりに唐突な話でイメージが浮かんできません。まずは既存の市街地を魅力あるものにして参りたいと考えております。

**山田 勉 議員**

**Q1 八百津地区排水整備計画について**

芦渡東部地区の整備計画は？

**問**

現在、八百津の旧市街地では、大仙寺から港町、旭町、木曾川まで直線での大排水工事が設計され、着々と進んでいます。また、細目地区においては、上石原から荒川橋までの排水工事が県により整備されていますが、もう1カ所必要ないところがあります。それは善恵寺周辺・芦渡東部地区ですが、高低差の多いところで、現在は排水問題は起きていませんが、昨年の自治会総会でこの地区の排水計画を作っていたかどうかの強い要望がありました。将来を考えると、木曾川に近い川に直結した排水計画を作っていたかどうか。

**答** (片岡建設課長)

八百津町は平成22年、23年の2年連続で、130年に1度という未曾有の豪雨に見舞われ、甚大な被害を受けました。安全・安心なまちづくりを目指す当町にとって、浸水対策は緊急の課題と考えております。平成22年に八百津地区排水路整備計画を策定いたしました。この整備計画は市街地58haについて現況の道路側溝や排水路の位置、流れる方向、流下能力などを調査し、流下能力が不足している箇所を

対策について検討しました。善恵寺周辺・芦渡東部地区もこの整備計画に含まれており、調査を行いました。この付近は国道418号が一番低い地点にあるため、周辺に降った雨水が集中する地形となっております。この地点から南下する町道側溝の排水能力が不足しており、住宅などに浸水被害をもたらす恐れがあります。これは十分認識しております。この対策として整備計画の中では、整備案の一つとして現況側溝を改修する計画を立てております。現在、下水道事業の中の雨水排水事業として、国に採択していただくよう準備を進めておりまして、今後事業採択がなされたところで順次詳細な調査設計を行い検討していく所存です。

**Q2 JAの共同利用設備整備支援計画について**

今後の当町の農業政策は？

**問**

現在、日本農業は食糧自給率40%前後で厳しい局面を迎えている。町は今回この事業に多額な補助金を拠出するが、今後の営農をどのように進展させ指導していくのか、お伺いしたい。

**答** (田口産業課長)

平成25年度予算で措置したJAめぐみの八百津ライスセンター整備事業に係る競争力強化

生産総合対策条件整備事業補助金につきましては、国の「強い農業づくり交付金」を財源として、県と町を經由して事業者に補助するもので、今回の補助金には、町の一般財源は含まれておりません。

また高齢化と農業後継者不足が進む中で、コメの自給率100%を維持するためにも、共同利用施設であるライスセンターの改修は重要な事業だと認識しています。それを利用する米作農家への営農指導を強化することも当然必要になると考えています。

具体的には、JAや農林事務所の協力をいただき、作付け品種の統一や農薬の減量に取り組み、低農薬で品質の良いコメを生産できるように営農指導を行って参ります。また、農地を守り、次世代に地域農業を継承していくため、転作を奨励するとともに、農地の集積化や集落営農を推進して参る所存ですので、格別なご理解とご協力をお願いいたします。

**徳田 弘司 議員**

**Q1 和知出張所駐車場の拡張と整備について**

駐車場の拡張計画は？

**問**

現在、約80台ほどしか駐車できないため、行事等があると満車状態で、特に平日に

出張所へ来られても駐車できずに困っている。敷地は広く、一体的な有効利用を考え、再開発すれば、大駐車場が確保できると考えるが、執行部の考えは。

**答** (林総務課長)

和知出張所には、研修センターや体真館、テニスコート、ゲートボール場、運動場など地区の皆さんが利用される公共施設が多く集積しており、イベント等が開催される日にはたくさん利用があると承知しています。

現在、駐車スペースは全体で87台の駐車区画を確保しています。行事等の開催で駐車スペースが不足すると予想される場合は、当面は、行事の主催団体を通じて、相乗りや、近くの方の自動車利用自粛を呼びかけるなどの対策を講じさせていただきます。

新年度には、前野班の消防詰所と、消防センターの新築を予定しており、現在の詰所を取り壊せば、その後に数台の駐車スペースは確保できると思えます。

また、近い将来には、和知体育館の改築も必要となって参りますので、そうした中で十分な駐車スペースの確保についても検討させていただきます。

**Q2 今後の職員採用計画について**